



オオタカ
(小倉橋上)

4班 西木 豊 撮影

第 1 7 6 号

発行日 令和5年5月10日

発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)

発行責任者 脇田 幸三

連絡先 大山崎町歴史資料館内

TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289

URL <https://www.kyoto-ofg.org/>

会長に就任して

脇田 幸三



会長経験者の皆様からの推薦を受け、会長就任を承諾しました。二度目の登板になりますが、三年前の何だか訳のわからないコロナ感染症により活動が殆ど出来ませんでした。今回も公民館建替えに伴ういろいろな問題が発生すると思われましたが、諸般の事情によりその時期が不明になりました。しかし受けたからには、全力で役職を務めたいと思います。

本年度は、昨年開催の「第10回ふるさと案内人養成講座」により新しいメンバー13名を迎えることになりました。一日も早く会に慣れてもらい、戦力として活躍していただけるよう全員のサポートをお願いします。

コロナ感染症の分類も2類から5類へと緩和されますが、予防対策を十分にいきい活動に取り組んでいきます。

コロナ禍で活動が途切れ、会員間の交流も少なくなり、組織力の低下を危惧しています。OFGの強みは、20数年にわたり培った組織力であり、コロナ禍も少し落ち着きを見せているので、学習会等を通じ団結力の強化を図りたいと思います。全員が参加できることを計画したいと考えます。

大山崎町を訪れた方に、思い出づくりのお手伝いと、わが町の魅力の発信が出来ればと考えます。

「振り返った後に、大きな路があるように・・・」、「今できることをやり遂げる」を頭にいれて活動をしたいと思います。

一年間、無事に終わられるよう、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和5年度定期総会報告

4月13日、令和5年度定期総会が開催されました。ここ数年コロナ禍でいろいろ制約があった総会も今回は4年ぶりに9名の来賓をお迎えすることができました。



前川町長

最初に森脇前会長の挨拶があり、前年度の最大事業であった第10回ふるさと案内人養成講座が関係者の皆さまのご尽力によって成功裡に終えることができ、13名の新会員を迎えられたことが報告されました。

前川町長、北村町議会議長、馬場教育長、斎藤商工会会長のご祝辞では、ガイドの会が今後も観光行政の一翼を担い、町の地域活性化の原動力として、また観光・文化の発信を通じて大山崎の魅力を伝えていってほしいという激励のお言葉をいただきました。

議事に入り、前会長より令和4年度の事業報告及び特別事業報告があり、会計報告と監査報告が行われたあとガイドの会会則の一部変更が承認されました。その後新年度の役員を選出と承認が行われ、脇田新会長より「今年度もより充実したガイド活動を目指す一方で学習活動にも力を入れたい」とした事業計画案が具体的に提案され、満場一致で承認されました。最後に新会長より新会員の紹介、新役員の紹介があり閉会となりました。

午後の会食と懇親会ではプロ顔負けの芸達者な会員による詩吟、ハンドベル、マジックが披露され、和やかなひと時となりました。(副会長 吉岡 望 記)

3月～4月の活動実績

1. 主なガイド

- ・3月25日(土) 水辺の散策2023 57名
- ・3月26日(日) 歴史グループ早雲 26名
- ・4月20日(木) ナルク天の川クラブ 23名
- ・4月23日(日) 名古屋工業会大阪支部 23名

2. 会の行事など

- ・3月16日(木) 入会予定者学習会 3回目
- ・3月27日(月) あちこち学習山歩64 京都御苑
- ・4月13日(木) 令和5年度定期総会
- ・4月17日(月) あちこち学習山歩65 伏見を歩く
- ・4月20日(木) 新規入会者現地学習会 1回目

活動予定

1. 主なガイド

- ・4月22日(土)～5月28日(日) 春の定点ガイド 全班
- ・5月1日(月) 第二大山崎小学校4年生 全班
- ・5月17日(水) 吹田郷土史研究会 4班
- ・5月20日(土) 春の天王山ウォーキング 全班
- ・5月27日(土) クラブツーリズム 1班

2. 会の行事など

- ・5月18日(木) 新規入会者現地学習会 2回目
- ・5月22日(月) あちこち学習山歩66 伊賀越えの道
- ・6月15日(木) 新規入会者現地学習会 3回目

3-4月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館ガイド		出前ガイド		定点ガイド		合計	
3月	3件	38人	1件	0人	26件	50人	0件	0人	0件	0人	29件	88人
R4年度累計	25件	345人	1件	216人	373件	729人	4件	78人	674件	2,087人	1,076件	3,455人
4月	5件	79人	1件	0人	36件	67人	0件	0人	80件	219人	121件	365人

水辺の散策2023

天気予報で実施さえ危ぶまれ、参加申し込み者の何人が参加されるか心配の中での開催でしたが、来訪の方々が元気に次々と現れ、担当役員や会員の方々にも安堵と元気が漲ってきました。手際よい手続きと案内で順次コースに出られました。

私も天気不安を持ちながら、北野さんと同行ガイドに入って案内、参加者の方々がメモ書きや写真を撮りながら真剣に拝聴戴きホット一息。

中でも「昔の交通は船便や牛車・馬車で大坂・奈良・堺といった都市群を結び付けていた淀川水系」、「大山崎は淀とともに三川合流地点付近の要港として京都盆地の扇の要の位置にあった」、「陸路も京と西国を結ぶ山陽道がここを通り西国街道の宿場町として

発展」、「長岡京・平安京の玄関口の要所として繁栄」、「国府跡他色んな遺跡も多く残る町」等の話に興味を持たれ楽しんで戴きました。

是非次回の天王山ウォーキングにも全員参加下さることをお約束して西山天王山駅で別れました。



(桂川 早瀬)



(淀川河川公園 残念石)

(1班 奥西正明 記)

あちこち学習山歩 64 京都御苑

3月27日、14人が参加。京都御苑・御所は地味で、歴史上凄く関心を引く地ではない。私は御苑の西北で生まれ育ち子供の頃の遊び場だった。此処は東西約



700m、南北約1300mで外周一周4km。かつては正月に市民長距離競争が開催されていた。

昔は鴨川河川敷で花火大会が開催され、それを見るのが楽しみだった。しかし、昭和29年8月16日、落下傘型打ち上げ花火の残り火が小御所の檜皮屋根に落ち火事になり、それ以来花火大会は中止された。

消防車のサイレンの音が今も記憶に残っている。

また、20カ所に駒札が設置されA4紙と鉛筆を以て浮き出し絵を描ける。これも今回楽しんだ。

御苑は明治に東京遷都で公家屋敷の大半が引っ越してしまい荒廃していたのを整備したもの。じっくり見て歩くと古の文化を偲べる。猿が辻の姉小路公知殺地、幕末禁門の変、閑院宮の邸宅跡等々、見所が多い。

御所は昔から焼けては建て、建てては焼かれた施設。太平洋戦争で焼かれなくて歴史を自分で考えられる所である。

(2班 澤田僚一 記)

トピックス

天王山登山口へ竹杖設置



平成26年にOFGは大山崎竹林ボランティアの協力を得て、天王山登山口に竹杖を設置しました。

この度、老朽化した竹杖の入れ物を、孟宗竹の太い部分3本を並べた入れ物に作り替え、手作りの竹杖を入れて、小倉神社からの登山口に設置しました。竹杖は宝積寺からの登山口、観音寺からの登山口と計3ヶ所に設置しております。

案内板には、設置者は大山崎ふるさとガイドの会と竹林ボランティアの会の連名で、「利用者は自分の責任でケガのないようご自由にお使いください。使用後は下山口のいずれかにお返してください」と表示しております。

天王山登山で、この竹杖を使用される方が多くなりました。これからもボランティア活動の一環として継続したいと思います。(3班 野尻裕三 記)

ご存知ですか

「三宅碑」の由来と妙喜庵の碑



西国街道に面した碑

妙喜庵を示す碑が二つ大山崎に建っています。一つは門前、もう一つは西国街道にあります。同時に建てられたもので、背面に「昭和三年初夏日・三宅安兵衛依遺志建之」と刻まれています。

この碑は俗に三宅碑と呼ばれるもので、実に約300基、京都南部を中心に存在します。安兵衛は若狭小浜の出身で、若くして京都に出、博多帯の販売で財を成しました。死に際し、京都の役に立ててくれと言ひ残し、息子の清兵衛に一万円を託しました(現在なら約5千万円位か)。

安兵衛が史跡めぐりが好きであったことから、史跡を示す碑を建てることにし、大正12年から7回忌の昭和4年までの間に凡そ300もの石碑を建てたのです。我々がたった一基をたてるのさえ、かなりの労力を費やしたことを考えると、膨大なエネルギーだったと思いませんか。

*この記事は元会員の木村嘉男氏(故人)がOFGだより108号(平成24年4月20日発行)に執筆されたものです。

会員動向 昨年度末をもって、1班福田朱美氏、2班竹中純子氏、3班三枝春美氏、4班丸山博之氏が退会されました。長期間にわたるご貢献に感謝申し上げます。

4月から1班に田口 准氏、松本 真一氏、皆本 芳子氏、村中 厚司氏、吉岡 良太氏、2班に奥野 忠雄氏、野間 幹二氏、金森恵美子氏、3班に市原 寛之氏、酒井 重男氏、安川 秋子氏、4班に須田 幹夫氏、高垣 真二氏、前原 利生氏が新規に入会されています。ご活躍を期待しています。